

方向性 **2** まちを育てる活動

●駅前広場等でのイベントの実施による賑わい形成

- ・駅前広場や公開空地では、高田馬場らしいイベントを積極的に開催し、まちの玄関口としての賑わいを創出する。
- ・駅前広場や公開空地等をイベントスペースとして貸し出すことで、常に賑わいのある駅前づくりを図っていく。
- ・地域がイベントスペースの運営を行うことで、高田馬場の魅力向上につながる利活用を誘導する。



●地域コミュニティの中心となる施設の整備・運営

- ・再開発等に伴い、地域コミュニティの場を創出する。
- ・コミュニティスペースの貸し出しなど、地域が運営をすることで、安定的な収入の確保とまちへの還元を行う。

●まちなかの施設を活用した屋外広告物の設置

- ・地域が主体となった運営で、駅前広場等の公共空間や工事中の仮囲い等での屋外広告物の設置を可能にする。
- ・デザイン性の高いフラッグを掲出すること等により、まちの賑わいづくりやイメージアップを図る。

●ホームページや地域情報誌等によるまちの情報発信

- ・地域のイベント情報や周辺マップなど、地域情報をまとめたホームページの作成・運営を行う。
- ・まちの魅力やまちづくりの取り組み状況などを地域情報誌等により発信する。

●清掃活動等による快適できれいな駅前づくり

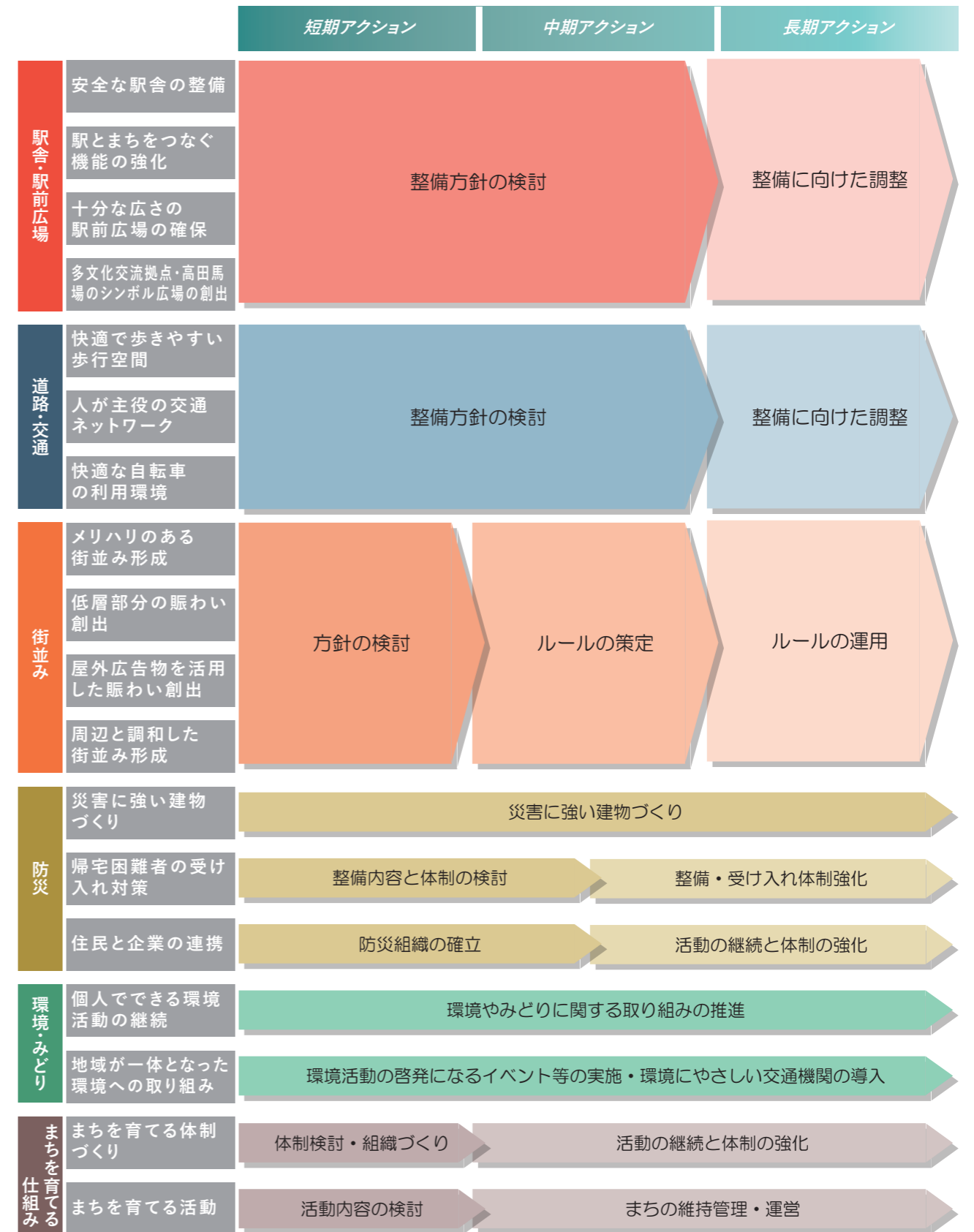
- ・だれでも気軽に参加できる清掃イベントなどを企画することで、きれいな公共空間の維持を図るとともに、コミュニティの醸成を進める。



IV. まちづくり構想案の実現に向けて

1 | 分野別まちづくりの目標の実現に向けて

分野別まちづくりの目標の実現に向けたスケジュールイメージを、以下に示します。



2 | 当面の課題

まちづくり構想案の実現に向けた、当面の課題を以下に示します。

①市街地再開発事業検討の加速化 地元 新宿区

当地区では、平成28(2016)年に高田馬場駅東口再開発協議会が設立され、再開発に関する検討が進められています。今後も引き続き検討を進め、早期実現に向け、加速させていくことが重要です。

②再開発の促進につながる都市計画の検討 新宿区 東京都 地元

高田馬場駅周辺地区における大規模な再開発等の促進に向けては、土地の高度利用のために、高度利用地区等の都市開発諸制度の活用や都市再生緊急整備地域の指定などの検討を進めていくことが必要です。

③鉄道事業者や東京都など関係機関との連携強化 鉄道事業者 東京都 新宿区

まちづくり構想案の実現にあたっては、新宿区や東京都、鉄道事業者などの関係機関との連携が必要不可欠です。特に西武鉄道新宿線については、複々線化等の都市計画のあり方について、早い段階から関係機関での情報共有及び検討を進めていくことが重要です。

④駅前広場と駅前通りの再整備検討 新宿区 東京都

十分な広さと機能を持った駅前広場を確保するため、再開発に併せて、交通広場や地下広場など、立体道路制度等の活用を視野に入れた都市基盤整備の検討をしていく必要があります。また、駅前通りのゆとりある歩行空間の確保に向けては、再開発による歩道状空地の確保にあわせて、歩道の車道側への拡幅などの検討も行い、ゆとりある歩行空間を確保していく必要があります。

⑤まちづくりルールの検討 地元 新宿区

ゆとりある歩行空間や統一感のある街並みの創出を目指し、まちづくりルール(地区計画)の検討を進めていきます。

⑥戸塚第二小学校の将来のあり方検討 地元 新宿区

当地区に隣接する戸塚第二小学校は、地区の貴重な資源である一方、建物は老朽化が進んでいます。将来的な活用の方向性について、検討していく必要があります。

⑦まちを育てる地元組織づくり 地元

駅前広場、再開発に伴う公開空地や公益施設などの空間を活用し、まちを育てていくため、地域による運営組織を立ち上げていく必要があります。そのためには、行政や周辺町会・商店会、企業との連携を図りながら、エリアマネジメントを行う新たな組織について検討していく必要があります。

上位計画

【新宿区まちづくり長期計画】 都市マスタープラン 平成29(2017)年12月

●高田馬場地区 【賑わい交流の心】

- ・業務商業と都心居住が調和したまち、また、バリアフリー化などにより快適な歩行者空間や景観を備えた、賑わいのある魅力をもったまちに誘導します。
- ・高田馬場駅周辺は、周辺建物の老朽化を踏まえ、市街地再開発事業等を活用し、駅の改良、駅前広場や歩行者空間の整備を進め、誰もが使いやすい利便性の高い駅と、商業や文化・交流、教育、宿泊、居住などが集積する拠点の形成を図ります。

●道路・交通

- ①高田馬場駅及び駅周辺における、福祉のまちづくりと賑わいの基盤整備を推進します。
- ②高田馬場駅周辺の歩行者空間の整備を推進します。
- ③楽しく安全に歩ける歩行者空間の充実を図ります。

●安全・安心のまちづくり

- ①市街地における防災まちづくりを推進します。
- ②身近な防災空間、避難ルートの確保を図ります

●みどり・公園

- ①まちの緑化を推進します。

●都市アメニティ

- ①高田馬場駅及び駅周辺の良好な景観形成を進めます。

●コミュニティ

- ①大学等との連携によりまちの活性化を図ります。

【新宿区まちづくり長期計画】 まちづくり戦略プラン 平成29(2017)年12月

戦略の方向性

『賑わいとユニバーサルデザインのまちづくりの推進』

1. 賑わいあふれる都市空間の整備

- ①再開発等を視野に入れたまちづくりの推進
- ②快適な歩行者空間や空地の整備
- ③西武新宿線に関する都市計画のあり方検討

2. ユニバーサルデザインの推進の強化

- ①高田馬場駅及び周辺における歩行者の安全性や利便性の向上
- ②多様な来街者に配慮した空間の形成

3. きれい・安心・楽しいまちの創造

- ①防災対策の充実
- ②道路の通行障害の防止と美化活動の推進
- ③地域の魅力を紹介する情報の発信

新宿区景観形成ガイドライン 平成27(2015)年3月

【景観形成の目標】

『活気と賑わいあふれる学生街のまちなみへ』

【景観形成の方針】

1. 賑わいの広がる高田馬場駅周辺の景観をつくる
2. 活気あふれ居心地の良い駅前景観をつくる
3. 賑わいあふれる幹線街路と商店街の景観をつくる



高田馬場駅周辺では、高田馬場のシンボルとなる駅前空間を創出する

東京都 都市づくりのグランドデザイン 平成29(2017)年9月

【都市づくりの目標】

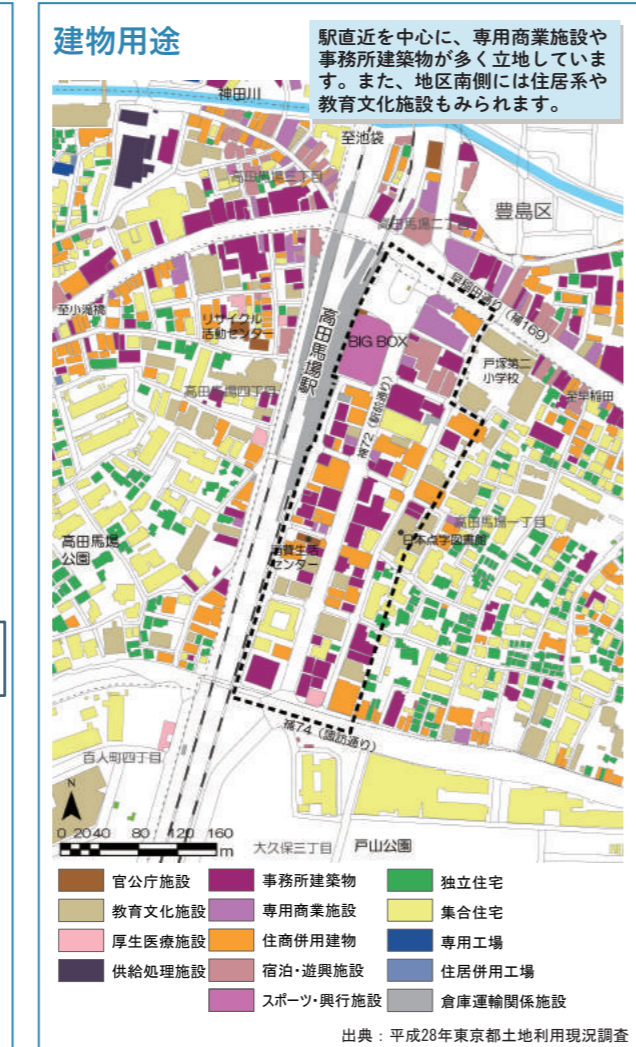
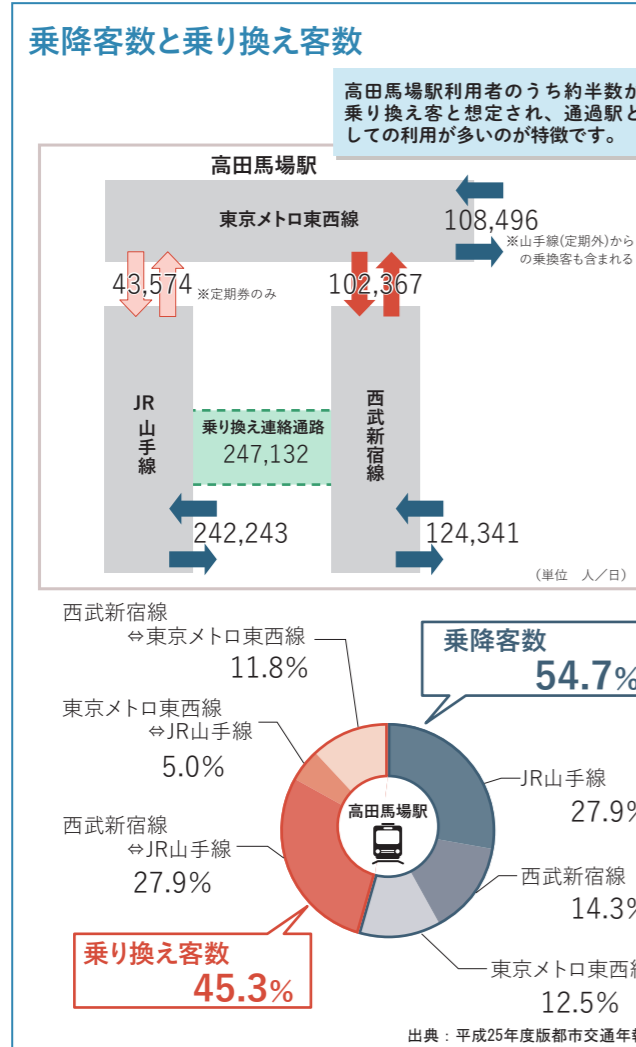
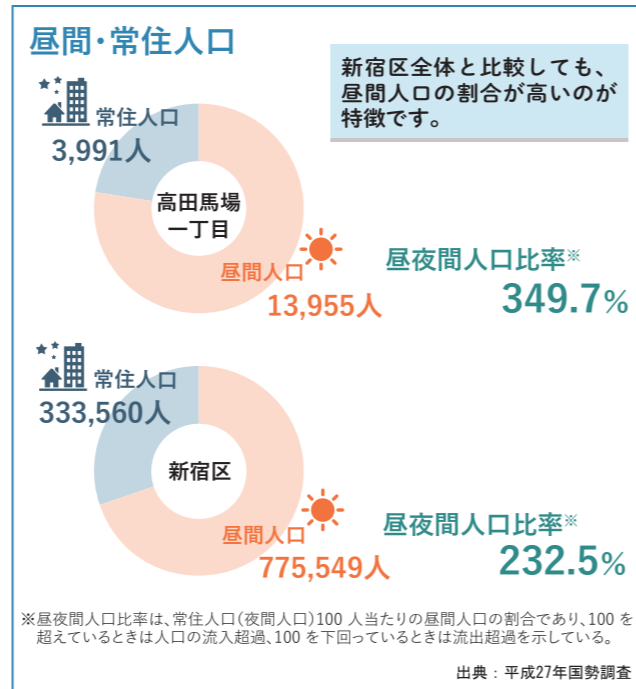
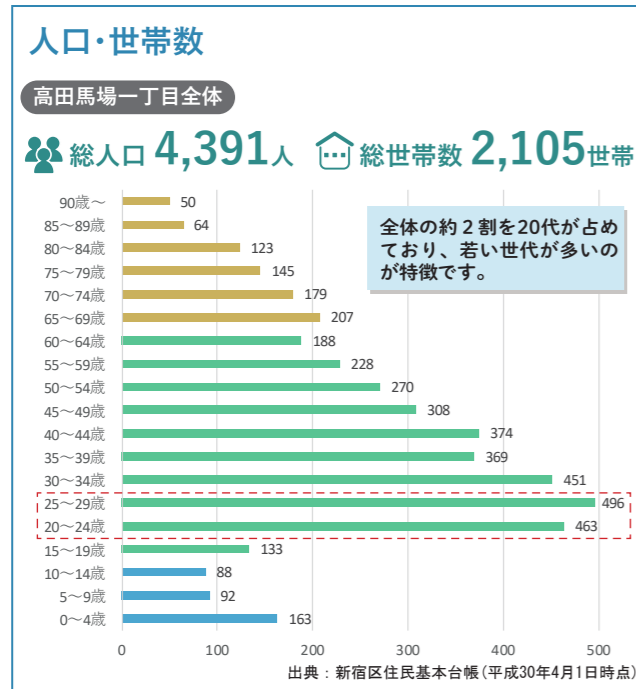
『活力とゆとりのある高度成熟都市 ～東京の未来を創ろう～』

●中枢広域拠点域

(高田馬場)

駅の改良、駅前広場や歩行者空間の整備が進むとともに、商業、文化・交流、教育、宿泊、居住などの機能が集積し、戸山公園や神田川の水と緑と調和した、にぎわいのある拠点となっています。

基礎データ



高田馬場駅周辺地区まちづくり協議会 体制と開催経緯

平成27年度からまちづくり協議会を9回開催し、地区の現況・課題を踏まえ、まちづくりの方向性について検討を進めてきました。

